

# なきごえ



1982

12

大阪市  
天王寺動物園協会

国津賢三



11月13日(土)18時40分。闇の中に薄ぼんやりとエサのニワトリに向かって動いていく動物らしき影が見えた。じっと目をこらしてみる。ニワトリの白の上に黒茶色のようなものがかぶさってみえる。「ムム出てきたな。」カサカサカサ、なにやら植物がこすれあうような音。双眼鏡をとり出してよく見た。「アッ！いる。」すぐ隣にいる仲間へ双眼鏡を手渡し、小声で「来たぞ。エサの向こうの方から食べているぞ。」手ぶりを加えながら必死で説明するのだが、なかなかうまく伝わらない。こちらも焦っている。「エサのすぐ左上に黒いものがかぶさって動いているでしょう。」「目が光ってる。」人に教えてもやりたいが、自分も見たい。まさに義理と人情の板ばさみである。

双眼鏡をとりもどして、もう一度よくみると、なんと今度はエサのすぐ右手前にもう一個体が接近していくではないか。全体が薄茶色、ずんぐりした体、小犬ぐらいの大きさ、尻尾の先が黒い、ゆっくりとした足どりでエサに近づいていく。肉眼でもなんとか見える。今度は他の仲間も確認できたようである。

大事なことを忘れていた。左のポケットには、全自動フラッシュ付きのカメラが入っていたのである。しかも充電もしてあった。はじめてみた感激と、焦りですっかり忘れてしまっていた。明るい間にエサをしかけて、日暮れを待ち、寒さに耐えること約40分、期待はしていたものの、本当にタヌキ？に出会

えるとは思っていなかった。

以前にも山道でシカやノウサギに出会ったことがあった。どれもみなすばらしい体験であった。しかし、それらは昼間、ほんの一瞬、偶然に姿をみせてくれただけだ。こちらはあまり苦勞をしていたとは言えない。しかし今回は違う。前日の晩も張り込んでみた。昼間のうちにもフンや足跡を探して山に分け入ってみた。他の仲間より一段高い石の上を陣どってもみた(木の陰にならずよく見渡せる。)自分なりに色々和努力を払って見たつもりである。

その分だけ、発見できたことが感動的になったと言えよう。

そしてまた、寒くて暗い中でじっと待つこと、それは野生の動物達の立場に少しでも近づくことにもなる。人間にとって快適な状態にあるままで、野生の動物達とのふれあいを持つというのには、少々都合がよすぎるように思う。

我々都会の動物(すでに野生を失ってしまった)は我慢することを嫌う。暗くなればすぐにライトをつけたがる。寒くなれば家の中にとじこもってしまう。それでいて、野生動物の保護を口にしたがる。彼らの生活の様子をほとんど知らないままで。

家のネコのミーやタマは最近、骨つきの魚よりもハムやカマボコを食べたがる。この先どうなってしまうのであろうか。ふと心配してしまう。

野生動物の生活の実際を観察することから、人間自身の生活様式をフィードバックさせて反省してみる。このことは非常に大切なことである。とは言うものの、キツネ観察ツアーや、ノウサギ見物バックなるものが大量に出現しないとは言いがたい。行きすぎは是非慎みたい。

もう帰ろうと腰を上げた時、闇の中に光る目がふたつあり、じっとこちらをみつめていた。きっと我々を見送ってくれたのであろう。今はただ、彼らがエサをたいらげて、この次まで元気でいてくれることを祈りたい。一闇の中に薄ぼんやりとニワトリが一羽だけ映った写真を手にして。—

(ナチュラリスト)

なきごえ12月号もくじ

動物と私 ..... 2
“札幌から来ました。ヨロシク！” ..... 3
動物園グラフ・動物園日記 ..... 4・5
この一年をふりかえって ..... 6・7・8・9
キーパーズ・アイ 25 ..... 10
動物園ニュース ..... 11

表紙の写真説明

“アカツクシガモ”

ヨーロッパ北部、アフリカ北部、中央アジア、中国東北部とその分布域は広く、日本にもまれに渡来が記録されています。美しいきつね色の大形のカモで、遊泳する姿勢はカモ類よりもむしろガン類に似ています。

(撮影：宮下実)



“札幌から来ました、ヨロシク！”

11月4日にアフリカタテガミヤマアラシが2頭(オス・メス)入園しました。このヤマアラシは札幌の円山動物園で今年の4月11日に生まれた若い個体で、当園のヨーロッパコウノトリとの交換で贈られて来たものです。(撮影：農本武志)

# 動物園グラフ

“こんなに大きくなりました!!”

今年も、たくさんの動物が生まれ、元気に成育しました。そんな赤ちゃんのいくつかを、生まれて間もない姿と成育した近況とで紹介します。(撮影：榊原安昭・農本武志)

アカカンガルー (1981年8月22日生まれ) ♀  
この赤ちゃんは、昨年生まれですが、昨年の12月16日に母親が死亡したため、人工哺育で育てました。この11月11日からは群にはもどすことができました。



グラントシマウマ (5月3日生まれ) ♀  
シマウマの誕生は、当園では6年ぶりのことでした。憲法記念日にちなんで“ノリコ”と名づけられました。



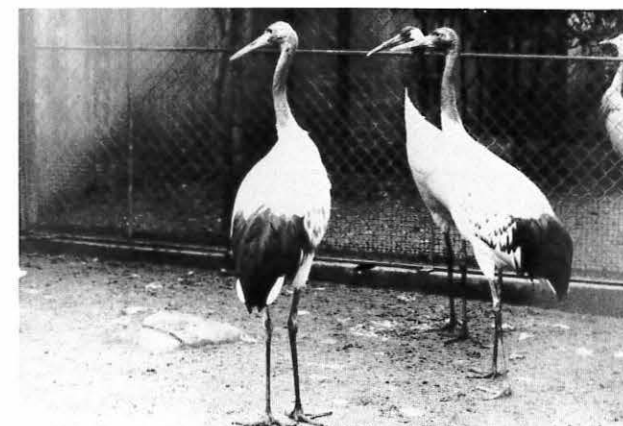
バカ (5月20日生まれ)  
一昨年初めて繁殖に成功したバカですが、今回は3産目でした。親をそっくりそのまま小さくしたような姿は人気を集めました。



タンチョウ (5月25日生まれ)  
今年で7年連続、13羽目のひながふ化しました。順調に成育し、頭から首や翼に茶色の羽毛が残っていますが、体格は親とほとんど変わりません。



モウコレイヨウ (7月30日生まれ) ♂  
今回は3産目で初めてオスの子が生まれました。母親は悔しくも9月12日に死亡しましたが、子供は無事育ちました。



## 10・11月の動物園日記

- 10/20. ムササビの雄“長作”がブレイリードッグ舎で皆さんにお目見えすることになりました。
- 10/21. シナガチョウがラマに蹴られ負傷したので入院させました。
- 10/22. デマシカの雄が急性肺炎で死亡しました。胃の中には、ナイロン袋などがたくさんからまっていた。
- 10/23. 突然の起立不能で加療中のダチョウの雌が少しずつよくなってきています。
- 10/24. 世界の野生動物を救おうという呼びかけでWWF展が当園展示館で開幕しました。

- 10/25. 翼を骨折したアマサギを1羽保護しました。
- 10/26. なきごえ編集会議が行なわれました。本年生まれのインドガンのヒナを展示、とりあえず見合いを水禽放養舎で始めました。
- 10/27. 本年9月18日に入園したエランドの雄を雌とうまく同居させることができました。
- 10/29. ヤマシギを1羽保護しました。アジルテナガザルの雄がこのところ元気食欲ともによくないので、診断のため入院させました。
- 10/30. 保護したフクロウとコノハズクがともに2週間で、アヒルの肝、鶏頭、馬肉に餌づきました。

大阪保育学院の生徒112名の園内指導がありました。

- 10/31. 餌づけのために隔離収容しているアシカの子の成育は順調です。
- 11/1. チンパンジーの雌サクラを同種雌のキャンディーの隣室へ麻酔して移動しました。
- 11/3. 秋の動物園祭が本日で終わりました。
- 11/4. カバの雄フトシと雌ナツコが交尾しました。アフリカタテガミヤマアラシの一番が入園、さっそく検疫に入りました。
- 11/5. ハ虫類舎のカメの冬眠前の体重測定と個体識別を実施しました。
- 11/6. アフリカタテガミヤマアラシの検疫が終了

したので、小獣舎にて展示を始めました。東京動物園協会理事長の古賀忠道氏が来園されました。

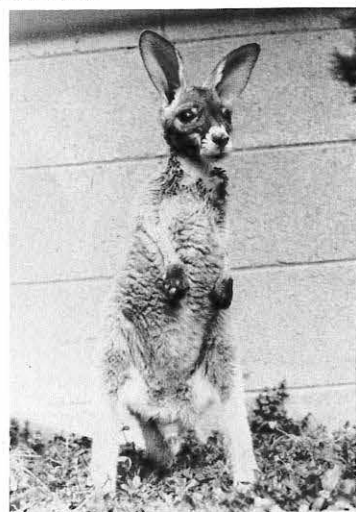
- 11/7. 今月5日に入園したカワウソの雄の展示がはじまりました。
- 11/9. キジ舎のネズミ退治を行ないました。
- 11/10. 展示予定のフクロウの性別鑑定を行ないました。
- 11/11. 人工哺育で育ったアカカンガルーの子をアカカンガルーの群と同居を開始させました。
- 11/12. タンチョウの雄が起立不安定で衰弱を示しはじめたので、治療をはじめました。
- 11/15. クロサイが交尾しました。

## この一年をふりかえって

1月

今年も成年、当園の中獣舎オオカミ類が主役です。昨年10月末に上海市から来園したクロオオカミにメ縄飾りが張られ、この遠来の友好動物に人気が集まりました。まだ若いので繁殖はすぐには望めませんが翌年2、3月頃がたのしみです。また同じアジア大陸にすむ、ドール（別称アジアアカオオカミ）がブリーディングローンとして横浜野毛山動物園から来園しており、これも成年に因み、中獣舎で公開しました。

展示館ではエトに因む「犬のおもちゃ展」が開催され、世界23ヶ国 220余点と数多くのめずらしい犬たちが勢揃いし、一段と盛況なこの催しも17回を迎えました。



昨年12月、親と死別し人工哺育で育てられているアカカンガルーの赤ちゃんが哺育器のふたにはさまれてしまいました。下半身が筋無力状態に陥り、何とか機能出来るようにと投薬治療とリハビリテーションをはじめました。又、27日には残念にもカリフォルニアアシカが流産しましたが、めずらしくもメス、オスの双胎でした。

2月

2月に入りますと急激な異常寒波で屋外、屋内の冷凍庫、冷蔵庫、動物病院のクーリングタワーの各ポンプやモーターが凍結破裂し、大被害をうけました。2月3日、クロオオカミのオス、平々の右前肢足根関節に異常を認め、より以上に悪化しないよう寝室に収容し、クル病の疑いで治療をはじめました。特にビタミン、ミネラルなど栄養剤を中心に投薬をつづけました。8日には最近、特に写真集やテレビ、映画ですっかりおなじみになったキタキツネを北海道旭川市の旭山動物園から花婿として贈っていただきました。これは当園に元からいたメスの個体との繁殖を図るため、可愛い子ギツネが誕生すればと期待しております。

10日からは昨年6月生れの8ヶ月のカリフォルニアアシカの赤ちゃんの餌付けを開始しました。当園



では大体生後10ヶ月を目途としているのですが、その時の母親の乳の出具合などで離乳期が異なります。餌付けも仲々むつかしく、個体毎の性格もあり、これぞという餌付けの手引書はありません。

14日の朝、心ない人にオオタカとサシバが盗まれ、職員一同、「ガックリ」しました。

3月

3月に入りいよいよ繁殖シーズンの到来です。1月には高さ13mの水禽放養舎とコウノトリ舎の巣台に繁殖を願って柳の小枝を巣材として入れました。3日には昨年6月生れの別個体のカリフォルニアアシカの餌付けを開始しました。

20日は東京都恩賜上野動物園の開園100周年にあたり上野動物園では天皇陛下他皇族、政界等の方々をお招きし記念式典が開催され、当園からも橋本園長がメッセージを携え出席しました。上野動物園の100年は我国の動物園100年の歴史とっていいほどで、その功績と他の動物園の規範となった影響力は国の内外を問わず認めるところで日本の誇りと思われま

す。27日には当園生まれの最長寿動物であったライオンのユキ（メス）が老衰と肺疾患のため死亡しました。生存年数は19年5ヶ月で天寿を全うしたといえるほど長生きしました。これも飼育係員の日頃からのたゆまぬ飼育技量の賜物と思われま

す。29日には京都市動物園から当園のタンチョウの近親交配をいくらかでも防止する意味でオス、メス2羽のタンチョウがブリーディングローンの形で入園しました。

4月

3月3日に産卵し、抱卵を続けていたキングペンギンの卵が4月1日に29日目で惜しくも破卵しました。4日から産卵をはじめた南園日本庭園のコブハクチョウが9日になって抱卵をはじめました。タンチョウの夫婦にもディスプレイが見られ、巣作りの準備がみられたので7日にヨシズをさいて短かく切ったものを巣材として入れてやりました。

ご来園の子供達に喜ばれるようにと北園の一隅に豆汽車、メリーゴーランド、エアードンボを設置し、一段と華やいだ雰囲気となり人気を集めています。長引いていた車庫と倉庫の工事が完了しました。



16日、東京では上野動物園開園100年を記念して、動物園の動物を通して平和を訴えるアニメーション映画、「象のいない動物園」が映画会社で製作され、公開されていますが、大阪でも大阪映画センターが当園での実写とアニメーションを織りまぜた戦時中のかわいそうな動物園の動物達の映画「ふるさとの動物園」サブタイトル（小さな愛のメルヘン）のロケーションがはじまりました。18日から長寿動物やライガー、リタ嬢などを偲ぶ「思い出のハクセイ展」がはじまりました。30日には宝くじ協会寄贈の新猛禽舎の贈呈式が挙行されました。これは手狭で老朽化した旧猛禽舎を財団法人「宝くじ協会」のご厚意により旧施設の約2倍近い411㎡12室（予備室2室含む）に建替えたものです。2ヶ月余の突貫工事で、5,000万円の立派な猛禽舎となり、10種の猛禽を展示し、春の行楽シーズンにそなえました。29日から5月5日までの春の動物園まつりがはじまりました。「なきごえ」も4月号で通刊200号となり今月号からカラー表紙となりました。

5月

春の行楽シーズン真最中、園内ステージでは人形劇、手品、遊戯と園内随所で大阪動物園ボランティアーズによるスポットガイドや動物クイズが行われ



ました。3日にはグラントシマウマに赤ちゃんが誕生したのでノリコと名付けました。経過は順調で1

時間もしない内に起立し乳をまさぐる姿はほほえましいものが感じられます。同じ日にブラックバックも誕生しました。例年5月5日の子供の日は「象の目方を計る会」を開催するのですが、4月から象舎油圧扉工事の関係で今年は中止し、かわりにカバの赤ちゃんのペットネーム募集を行いました。開票の結果、「ツヨシ」と決まりました。

10日朝、友好都市上海動物園からいただいたコウノトリのオスが何かの原因で頭部に頭蓋骨陥没を呈し死亡しているのが発見され、残念にも繁殖の望みを断たれ、職員一同ショックをうけました。

17日に横浜野毛山動物園を訪問中の上海動物園の一行が当園に立寄り見学されました。その際、上海動物園々長にコウノトリの譲受を要請しました。

20日にはパカのパーコが2度目のお産をし、赤ちゃんに「ルンルン」と名付けました。

25日には4月に産卵したタンチョウの卵が朝と夕方にそれぞれふ化し、7年連続の繁殖記録を樹立しました。タンチョウ夫婦はこれで13羽も自然ふ化させたことになります。現在このヒナは体こそ親と同じ位ですがまだ茶色の羽根が残っており、ピーピーと体に似合わず可愛い声で鳴いております。

6月

1日、衣替えに因んで恒例のメンヨウの毛刈りが行われ、6頭から28kgの羊毛が刈り取られ、メンヨウ達も涼しげな衣替えとなりました。

2日には昨年上海動物園よりクロオオカミをいただいた返礼としてマントビヒ1番とアシカ1頭（オス）を贈り、土井飼育課長と東飼育主任が同行しました。

4月からロケーションに入っていた「ふるさとの動物園」が編集を終り封切りに先だって当園で試写会が行われました。今年5月25日ふ化のタンチョウのヒナの一羽に突発性の嘴の咬合不整が発生し、職員がいろいろ治療を検討しているうち10日余りして元の状態に自然回復しました。16日からホッキョクグマのオス「ユキオ」の食欲が廃絶し、腰麻痺を呈したので治療を開始しました。ニュージーランドのオトロハンガ動物学協会からのキーウイ寄贈の話がまとまり、7月3日の贈呈式にそなえキーウイ舎の拡張工事が急ピッチで行われました。今年のサマースクールにそなえるため27日から毎日曜4回の計画でサマースクールボランティア講習会がはじまりました。30日にはめずらしい北米産シンリンオオカミの黒変種がジステンパーのため治療のいかなく死亡しました。

7月

1日にカリフォルニアアシカが生まれました。今年6月13日にも1頭生れており計2頭だけでした。

3日にはニュージーランド・オトロハンガ動物学協会からキーウイ3羽の寄贈があり、技術指導として名誉園長のバリー・ロウ氏夫妻が来園され、晴天のもと贈呈式が行われ、キーウイも特に輸送箱から出されテレビカメラに収まりました。贈られた個体はい



ずれも7ヶ月令と若くこれからのペアリング、そして繁殖と夢がもたれます。本日から9日間、キーウイの夜間行動調査が行われました。

先月末にシンリンオオカミがジステンパーで死亡したので9日にキツネ、タヌキ等にジステンパーのワクチンを接種し、予防につとめました。

22日から恒例の第8回サマースクールがはじまりました。今年も盛況で応募者も多く3倍強の競争率でした。23日は暦では大暑にあたります。これに因んで恒例のホッキョクグマ氷柱プレゼントを行いま



した。サマースクールの生徒も思いがけない催物に食い入るようにホッキョクグマを観察していました。30日には、たのじみにしていたモウコガゼルに赤ちゃん(オス)が誕生しました。妊娠期間は187日でこれは1月24日に交尾が確認されておりました。

## 8月

7月以来、後軀麻痺で入院中のオセロットのメス「パトラ」の原因がつかめないで府大家畜病院で精密検査を受けましたが腰椎などの異常は認められませんでした。

第8回のサマースクールで子供達が一生懸命勉強した研究成果を「第8回サマースクール研究発表作品展」として22日から展示館で展示を行いました。

26日にアミメキリンのリッコがメスの子を出産しましたが仲々起立せず、母親もいら立ち気になめたり足で軽くくばして起立を促すのですが立ち上れ

ず、そのうち誤って口吻部を踏みつけたので隔離しました。子供の足をマッサージしたり、とりえず強制哺乳しましたが2日目に衰弱がはげしく死亡しました。やはり近親交配の悪い形質が出てきているのかも知れません。リッコは初産の時は早産でそれも口蓋裂の子供をお産しています。

## 9月

8月31日にクロヒョウ一番の元気がなくなり食欲廃絶となったので治療をはじめましたが、1日になってメスが肺炎を主徴する疾患で死亡しました。

2日にはめずらしく保護されたアカショウビンが森本獣医の努力で餌付き喜んでおりましたが、小鳥の家に展示したところ24日に惜しくも死亡しました。

7月30日に第3仔を出産したモウコレイヨウのメス親が下顎骨折と歯牙疾患を伴う敗血症で12日に死亡しました。14日には山形県環境衛生課で保護されていたニホンツキノワグマ4頭のうち、約7ヶ月令のオス、メス



各1頭が贈られて来ました。早速検査後放飼場に展示しましたが、可愛いくあどけない姿にクマ舎前は毎日黒山の人だかりで人気絶頂です。17日には今年6月13日生れのカリフォルニアアシカの仔の発育状態が思わしくなく母親の乳が出ていないようなので隔離プールに移し、本日から海獣用人工粉乳による強制哺乳に切替えました。20日には南園サル島のニホンザル14頭全頭を捕獲し、翌21日に擬岩補修と遊木を設置後、サル島舎全体を消毒しました。22日に新たに顔写真をとり個体識別のための入墨を施した箕面自然公園の離れザルの群25頭を放飼しました。現在のところ力の差も明瞭に出ておらずボスらしい個体も明確でなく社会構造もはっきりしていません。20日からは恒例の動物愛護週間ですが20日は休園日のため21日から26日まで、大阪市獣医師会の協力を得て1時から4時まで動物無料相談を、そして23日には動物総合感謝祭と行いました。29日にはナショナル電子計測KKの協力を得て7月に来園したキーウイ3羽の無照明の夜間撮影を行いました。これは超高感度の工業用監視カメラでごくわずかの光量で十分増感でき、モノクロ撮影ですがキーウイの人工飼料の採食風景から飲水、羽づくろいの姿まではじめて録画でき、今後編集してお客様にもお見せ出来る日も近いと考えております。

## 10月

1日には恒例のボイラーの火入式を行いました。



例年ですと霊長目のサル仲間が主役といったところですが今年は適当な個体がおらず、まっ先に暖房の厄介になる爬虫舎を代表して、ラッセルサンドボアが点火に参加したほかタヌキ、トカラヤギなども参加しました。因みに来年5月中旬までの重油使用推定量は164,000ℓで、ゴリラ、チンパンジー、オランウータン、カバ、動物病院、一時収容舎、事務所などをスチーム暖房します。サイ、キリン、小鳥の家は電気暖房で、それ以外の暖房を必要とする動物舎は赤外線ランプによる保温です。2日には昨年6月25日生れて一般公募で名前をつけてもらったカバの「ツヨシ」が1年3ヶ月令で出園しました。8日にはヤブシチメンチョウの塚を掘り起しました。今年のヤブシチメンチョウは3月23日から5月16日までの間に17卵を、8月16日に21卵を、そして今回の17卵と計50数卵産卵しており一部ふ化寸前の中止卵もあることから今後さらに塚に十分腐葉土を入れるなど、適正温度と湿度を把握して繁殖に結びつくよう努力したいと考えています。9日には冷房ペンギン室のキングペンギン、ジェンツーペンギン、ロックホッパーペンギンなどを屋外プールに移動させ、冷房を切りました。ペンギン達は戸外の新鮮な空気とさんさんと輝く太陽に戸惑い気味でした。

9日からは初めての試みで職員の写真展を展示館で行いました。全紙から6ツ切まで白黒ありカラーありの力作40点、さすが動物園の職員だけあってねらいどころも良いと専門家の批評の声も聞かれました。

11日から11月の3日まで秋の動物園まつりがはじまりました。春と同様、園内ステージでは人形劇、手品、遊戯、そして大阪動物園ボランティアーズによるスポットガイド、今年は特にキーウイが3羽入園したこともあって、キーウイのハクセイ、模擬卵鳴き声、パネル写真などを展示したので大変好評でした。この他、当園獣医師による小鳥から象までの動物無料相談が期間中行われました。森本獣医が手塩にかけて人工哺育で育てあげたムササビの「長作」をプレイリードック舎に20日から同居展示しました。18日から起立不能に陥ったダチョウの♀が治療のかいあって月末には起立歩行、元氣も回復し安心しました。WWF(世界野生生物基金)総裁エジンバラ公フィリップ殿下の来日に先がけ、園内展示館でWWF展を24日から11月3日までの予定で開催しまし

た。また展示即売、募金活動も行い盛況でした。

## 11月

3日、秋の動物園まつりが終わりました。今年は晴天続きで入園者も昨年より多く、年度末の集計では昨年の入園者数を追越しそうで一同喜んでおります。

5日、シュバシコウを7羽(今年ふ化成育した8羽のうち)を捕獲し、札幌円山動物園等へ搬出し入れ替りに同日、カワウソウが1頭搬入されました。これは当初当園のコツメカワウソウとペアリングさせる予定でしたが大型で種類の違うものなので別に展示しました。



9月から園内で行われていたライオン、トラ放飼場の擬岩改修、カモシカ舎の防水工事、池の埋戻し、園内下水管の改修工事、南園井戸ボーリング工事等が10日に全工事を完了しました。

チンパンジーの「キャンディー」のストレス予防のため1日から見合中の「サクラ」を12日放飼場で同居させました。同居後は良好でストレスからくる悪癖によるケガも治りつつあります。1日に繁殖用に搬入したトムソングゼルの子が搬入時から起立不能で治療中でしたがかいかなく13日に死亡しました。原因は恥骨坐骨の複雑骨折と食欲不振による衰弱死でした。15日には上野動物園に贈呈されたジャイアントパンダ「フェイフェイ」に同行されてきた北京動物園李園長と上野動物園浅倉園長他4名が当園を訪問されました。18日、京都市動物園で第30回全国動物園技術者研究会が3日間にわたって開催され、中川主査と宮下獣医、仲谷係員が出席し、日頃の研究成果を発表しました。21日には来年のエトに備え、保護飼育していたイノシシの幼獣をブタ舎横に展示しました。25日に高知動物園で人工哺育したムササビのメス「モモコ」を譲りうけました。環境に適應し検査が終了後当園のムササビ「長作」と同居させ、繁殖を図る予定です。27日今年生れのラマの子2頭を搬出しました。

## 12月

12日には恒例のボランティアの勉強会として夜の動物園見学会が行われました。

25日には当園近くの通天閣で園長が出席してエトの引継式が行われる予定です。又、園内ではペンキ塗りなど迎春準備が着々と行われます。

(飼育課：中川 哲 男)

## キーパーズ・アイ 25

### §肥満対策

天高く馬肥ゆる秋、動物たちの食欲も増し、厳しい冬の寒さに備えます。しかし、食欲が盛んになってくれるのは、担当者としても大変うれしいことですが、現在、人間社会でも問題になっている肥満化が、動物園の動物達にも増えつつあるのです。今年の秋頃から丸々と太りだし、口の悪い人から“ブタライグマ”などと言われる程の肥満児になってしまったアライグマのオスのアラモもこの問題の動物の一つです。アライグマやキツネ、タヌキなどの動物は、冬に備えて皮下脂肪が増加するのは、正常な事なのですが、アラモの場合は、少々太り過ぎてしまったようです。運動不足・食べ過ぎ（中でも可愛い仕草や、人なつこさから入園者の人気を集め、お菓子や果物などのもらい過ぎ）などが原因の様です。この太り過ぎたアラモを減量させるべく運動用具としてタイヤを入れたのですが、太り過ぎのためか、自発的に運動しようとはせず失敗、最後の手段として、私がアラモと、毎日レスリングをする事になりました。アライグマと人がレスリングをするなん



て?と信じられない方もあるでしょうが、これは、まさしくレスリングノイアプロレスととってもいい程の荒ワザ、反則ワザ（試合中にアラモが、私の髪の毛をひっぱったりするetc...）の連続で、5分もやると、互いに息がきれる程です。おかげで、私の手や腕はミミズばれや、青あざだらけ。この減量作戦の成果がでるまで、私の手の傷は消えそうにもなさそうです。

（飼育課：農本 武志）  
（イラスト：松山 浩美）

### §一室に2頭はツライナア!



8月24日に山形県河北町で保護飼育されていたニホンツキノワグマ2頭（雄雌各1頭）が来園しました。あいにく、寝室が2つしかないうえに前からいるツキノワグマも2頭いるため、一室に2頭ずつ入ってもらう事になりました。入園当初は雄がたいへんなこわがり、反対に雌は元気が良く、ちょっぴり人慣れしていました。でも運動場へ出す為に網で捕まえているうちに雌の方までこわがりになってしまいました。えさを持って行っても雌はすぐに寄って来て食べますが、雄は私が寝室から出て行くまで絶対に食べませんでした。リンゴ・パン・ムシイモ・ソーセージにミルクをかけた餌を食べるため、口

のまわりにはいっぱいミルクがつき、外からのぞいた私の方を見かえす顔は、何とも言えないほど愛くるしい表情です。

でも、私はこの子熊ともし戦っても今は勝つ自信はありますが、あと何年か経つと流血戦の末、ドクターストップできっと取れることでしょう。そう思うと顔がひきつってきます。

あわれなのが今まで一室ずつに分かれて住んでいた熊さん夫婦です。この夫婦は雄がおっとりしていて雌の方が積極的です。夕食時に、私がオリ越しにえさを入れてやると、雄が寄って来てそれを自分の真下に手でたたき落とします。私がえさを全て入れ終わるまで食べないものですから、ないとわかるまで待っています。するとその間に雄がたたきおとしたえさを雌が食べているのでケンカが始まります。雄は持病なのか、よく口からあわをふきます。食事中にもあわをふくのでその間に雌は雄のえさまで食べてしまいます。“女は強いなあ”このままでは雌はブッチャーのようにブクブクになり雄はG馬場のようにスマートになってしまいます。早く何とかしてやりたいと思います。熊もそう思っているのでは……。

（飼育課：松下 達夫）  
（イラスト：松山 浩美）

# すてき満喫 近鉄クレジットカード

- 全国の近鉄流通グループ・都ホテルチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただければ30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。



## 近鉄百貨店

お申込み・お問合せは各店クレジットセンター  
アベノ店 06(624)1111・上本町店 06(779)1231  
東大阪店 06(783)1111・奈良店 0742(33)1111

### 近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・枚方・和歌山・東京(吉祥寺)・四日市・松阪・伊勢・岐阜・徳山・別府

## たのしいのりものが待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
…… 1割引

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社 ☆ 社団法人 大阪市天王寺動物園協会  
(06) 541-3112 (06) 771-0201

動植物の生態をわかりやすく解いた楽しい幼児図鑑

# こどものずかん

全 10 巻

● B5判・上製本・56頁  
各巻定価650円

- ① みちかな どうぶつ
- ② のやまの むし
- ③ にわや かだんの はな
- ④ うみの いきもの
- ⑤ やさいと くだもの
- ⑥ どうぶつえん
- ⑦ のやまの くさき
- ⑧ みずべの いきもの
- ⑨ のやまの とり
- ⑩ きせつと しぜん

この図鑑は正確な絵と生態写真を使って幼児の観察力を養い育て、動植物への理解を深めるようにつくられています。カラーページには身近に見られる動植物を取り上げ、2色ページには観察や飼育・栽培をするときの心構えと要領がのっています。最寄の有名書店、百貨店でお願いします。



ひかりのくに株式会社

〒543 大阪市天王寺区上本町3-2  
☎ 06 768-1151 代表

◎ 動物のことなら あらゆることに  
お役に立ちます。

- 飼育指導 (ペットよろず相談)
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写生会
- 撮影用動物モデルリース
- 動物(ペット)、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

110 自然から学ぶおもいやり

株式会社 アニマ

(いきもの110ばん)

☎ 06-863-1025 (代表)

〒561 豊中市利倉2丁目22-2

ポッカ コーポレーション

ご行楽に...

ポッカ  
つぶちゃん  
オレンジ



ビタミンC入り

POKKA P

スポーツ アルカリ イオン 飲料

C-500

NET 250g  
標準小売価格 ¥100

NET 250g  
標準小売価格 ¥120

誰が押しても



ただフィルムを差し込むだけです。

自動装てん



ピント合わせはカメラまかせです。

自動焦点



次々とシャッターを押すだけです。

自動巻き上げ

撮り終ると同時に巻き戻されます。

自動巻き戻し

フジカオート7デート  
標準価格 49,800円  
(本体47,800円/ケース2,000円)  
標準価格はメーカーが希望する標準的な小売価格です。

大阪市天王寺動物園協会発行  
「なきごえ」発刊200号特集記念

協 賛

獣医科 (イロハ順)

- |          |  |
|----------|--|
| 岩崎橋犬猫診療所 | TEL (06) 551-1323<br>大阪市大正区三軒家西1-7-18<br>辻 栄 重 |
| 奥村獣医科    | TEL (06) 211-8941<br>大阪市南区島ノ内2-8-34<br>奥村 弘    |
| 高岡獣医科    | TEL (06) 471-1672<br>大阪市西淀川区野里2-2-5<br>高岡 秀和   |
| 高瀬獣医科    | TEL (06) 971-7927<br>大阪市東成区大今里4-27-25<br>高瀬 一行 |
| 谷町獣医科    | TEL (06) 941-7693<br>大阪市東区谷町4-20<br>池尾 信一郎     |
| 鶴野獣医科病院  | TEL (0722) 33-0372<br>堺市一条通18-8<br>鶴野 整 傳      |
| 浦東獣医科    | TEL (06) 631-3331<br>大阪市浪速区恵美須西3-6-11<br>浦東 信夫 |
| 福留獣医科    | TEL (06) 322-6290<br>大阪市東淀川区下新庄1-11-7<br>福留 慶彦 |
| 藤井寺動物病院  | TEL (0729) 54-5630<br>藤井寺市御舟町1-3<br>是枝 哲世      |
| 芦屋家畜病院   | TEL (0797) 22-3961<br>芦屋市打出小槌町46<br>岩崎 孝泰      |
| 境川獣医科    | TEL (06) 582-0252<br>大阪市港区市岡元町1-1-1<br>松村 一 弥  |
| 東田獣医科    | TEL (0726) 82-3297<br>高槻市名神町3-8<br>東田 和 弘      |

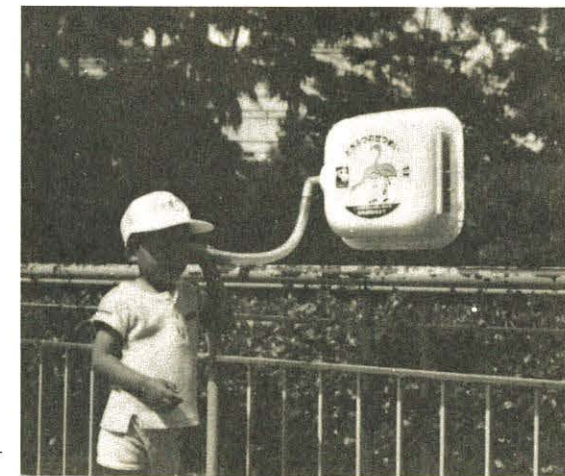
.....ぼっちゃん  
.....おじょうちゃん  
どうぶつえんへ.....  
いらっしゃいませ.....  
ごきゅうけいは.....  
おしょくじは.....

動物園内北園

中央売店

☎ 06-771-0973

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数ヶ所にあります

1回 20円

関西特機株式会社 ☆ 社団法人 大阪市天王寺動物園協会  
(06) 762-2333 (06) 771-0201



天王寺動物園内

# 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 (771) 7110番

園内での写真は…  
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます



◎随時係員が待機しておりますので説明に伺いました際は、よろしくお願ひ致します。

動物園協会  
指 定

## 国際航空写真株式会社

豊中市蛍池西町3丁目555 関西国際空港ビル内  
大阪営業所 TEL 06-856-7444

## 動物園ニュース

### § WWF展開催!!

10月31日に、世界野生生物基金(WWF)総裁・エジンバラ公フィリップ殿下が来日されましたが、それを記念して、WWF日本委員会近畿支部主催で10月24日から11月3日まで“守ろう!!野生生物”と題する動物写真展が行なわれました。

また期間中の10月24日、30日、31日、11月3日の4日間には、近畿支部の会員が来園し、園内で募金活動が行なわれ、総額40,065円の募金が集まりました。

同時にWWFのシンボルマークのパンダマークのTシャツやキーホルダーなどの商品の展示即売も行なわれ好評でした。



### § アフリカタテガミヤマアラシ来園!!

11月4日、アフリカタテガミヤマアラシ、一番が札幌市の円山動物園から動物交換で来園しました。

来園した2頭は、円山動物園で今年の4月11日に生まれた雌雄です。検疫終了後、11月6日から、さっそくインドタテガミヤマアラシが死亡し、空室となっていた小獣舎の一角に展示しました。円山動物園では毎年子供が生まれるとのことですので、当園



でもぜひ繁殖させたいものです。

なお、交換動物として当園からは本年生れのシュバシコウ2羽を11月5日に円山動物園へ送りました。

### § アカカンガルーの赤ちゃん誕生。

毎年、11月~12月になると、アカカンガルーの赤ちゃんが袋から顔を出すようになりますが、今年

現在の飼育動物数(1982年10月31日現在)

哺乳類	95種	353点
鳥類	220種	802点
爬虫類	44種	95点
計	359種	1250点



も11月13日に初めて赤ちゃんが袋から顔を出しているのが観察されました。まだ、数分しか顔を出すことがないので、入園者の皆さんも、まだまだあまり気づいていないようです。母親は1978年に当園で生まれたもので、今回が2産目です。

### § 新着動物

11月に入って、アフリカタテガミヤマアラシの他にも数種の動物が来園しました。

11月1日にはブラックバックの雌が来園しました。宝塚動植物園で、本年3月20日に生まれた個体で、ブラックバックの血液更新をはかるため導入しました。これで、雄1頭、雌7頭の大家族となりました。

また11月5日にはカワウソの雄が来園しました。7日から小獣舎に展示していますが、愛嬌たっぷりの姿は、人気を集めています。

鳥類では、11月5日にウスズミハッカンの雄の寄



贈がありました。ウスズミハカンは、ミヤマハカンの亜種で、

昨年一番の寄贈があったのですが、雄がまもなく死亡し雌1羽で飼われていました。11月17日には検疫も終了し、雌と同居させました。

### ◎ お知らせ

来年1月2日から31日まで、北園展示館で毎年恒例の“えとにちなむ：おもちゃ展”を開催します。吉田平七郎氏提供による世界各国のイノシシのおもちゃ約270点を展示しますので、ぜひ御来園下さい。

### \* 休園日のお知らせ \*

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。来年2月までの休園日は下記のとおりです。  
12月20日(月)、1月17日(月)、2月21日(月)。  
年末年始は、12月29日~1月1日まで休園いたします。開園時間は、午前9時30分から午後5時までで、午後4時に切符売止めになります。

なきごえ 昭和57年12月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

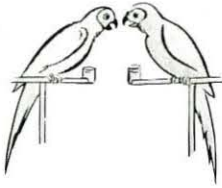
第18巻 第12号(通巻208号)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

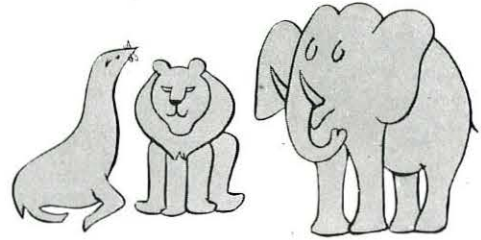
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種 | 枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

## 有限会社 吉川 商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

橋本 一郎・土井 良彦・樽本 勲・中川 哲男・宮下 実・長瀬健二郎・神原 安昭・森本 委利・大野 尊信  
 葺谷 文彦・農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・小出 雅三・板野 健一・石島 宏胤・柴田 総